

いっぽ舎だより

平成 30 年 7 月 第 8 号

地域活動支援センターいっぽ舎だより 第 8 号

暑中お見舞い申し上げます。おかげさまで 8 回目の夏を迎えることができました。メンバー・職員一同、今まで支えてくださった方々に深く感謝申し上げます。

さて、この一年間もたくさんの活動をしてきました。全部を紹介することはできませんが、特に印象に残った活動を中心に紹介していきます。

いっぽ舎の活動報告



認知症サポーター養成講座を受講しました。総勢 18 名(講師 4 名含む) 貴重なお話を伺い、認知症について考えさせられる時間となりました。

味覚狩り



毎年恒例となった梨狩りに加えて、キウイ狩りにも行きました。キウイは手を加えないと熟さないことを教わり、その場で食べられないことに一同ガッカルて帰りました。



いっぽいっぽ合同忘年会にて日ごろの成果を発表。「キラキラ星」と「きよしこの夜」2 曲を披露しました。ハンドベルにハーモニカそしてピアノカとそれぞれができる楽器を演奏しました。



- ・川身協ボッチャ大会参加
 - ・第 5 回日本ユニバーサルボッチャ選手権大会レクの部 in ラポール
 - ・他施設交流試合(ボッチャの日) れいんぼう川崎にて
 - ・かわさきファーマーズマーケットにて体験ブース
 - ・オアシス井田にてボッチャ交流
 - ・毎月 1 回多摩区役所で練習
- など、いろいろな場所でボッチャをやりました。





ミステリー ツアー



年に2回メンバーには目的地を告げずに外出活動。職員が事前準備を行うサプライズ企画。今回は、夢見が崎動物公園と藤子不二雄ミュージアムに行ってきました。

(株)研進を介して朝日新聞社からノベルティグッズの依頼を受けました。「エコ」がテーマということで野菜栽培キットを4000個制作しました。期間が短いこともあり、普段自由創作が多いメンバーも気合を入れて作業にあたってくれました。



「自分の食べる分は自分でつくる」をテーマに、オムライス、お好み焼きそしてコーヒーマイルで豆をひき、贅沢にコーヒーをいれる。形は不格好だけど、自分のこだわりの料理が出来ました。挽きたてコーヒーマイルは部屋中がよい香りに包まれ、至福の時間でした。苦手な人も「引き立てなら大丈夫」と新しい発見もありました。



災害伝言ダイヤル体験と実際に非常食を食べてみました。おいしいものもあれば、口に合わないものもあり、自分好みの非常食を用意する大切さを実感しました。



外出(とんかつ、焼肉、サーティワンアイスなど)に、テイクアウト(唐揚げ、本格インドカレー)と普段なかなか食べられないものを楽しみました。

メンバーからの声

忘年会でハンドベルを演奏したのが楽しかったです。2曲だけなのに頑張っ
て練習したのを覚えています。今は、
新曲+2曲頑張っています。

料理もたくさん作ったし、色々楽しい
年でした。これからも新しい事を怖が
らずに挑戦していきたいです！

M.S



いっぽ舎から車で40分の小高い山にあります。
入口にトータムポールがあり、中には神社が3つと
お寺が1つあります。入口近くにレッサーパンダ舎。
上野動物園のレッサーパンダは木の上で寝ている
だけですが、ここのレッサーパンダは飽きません。マ
ーコール舎にはたくさんのマーコールがいます。大
きな目、角、発達した爪で岩山を楽々と昇り降りして
いました。水禽舎には、プールで泳ぐペンギンと水槽
に入った大きなカミツキガメがいました。「カメいる
よ」と言うと毛のない動物は嫌いという人もいま
した。カメ舎にはゾウガメなどの陸ガメがいて、誰か
さんが「ぞうさん」の唄を歌っていました。サル舎には
たくさんの種類のサルがいました。印象に残るサル
はリーゼントの男前のサルでした。小動物舎には、数
え切れないモルモット達。インコ舎があり、キジ舎に
は二ホンキジがいてきれいでした。園の北側のとこ
ろに木製の富士見デッキがあり、その近くには秋の
花、彼岸花とイヌサフランが咲いていました。そこ
から東海道新幹線が西に東にと走りゆくのが見え
ます。江戸時代には太田道灌がここに築城しよう
としたが断念した場所とか。

いっぽ舎だけでなく、ここには舎のつく所がた
くさんありました。この場所はどこでしょうか。 S.H

いっぽ舎に週2回、行くことが出来る
ことを含めた日々の今の生活。
同じにマンションに暮らす、子供達
や、人達に挨拶をする→応援される
までになり。最寄り駅宮崎台までに
会う人達、お店、駅の方々。みんなに
声をかけることが出来る。話しが
出来る。

橋本先生の言葉をお借りして言え
ば、リハビリが「本来、あるべき状態
への回復、自分を取り戻すこと」だ
とすれば、いっぽ舎へ行き活動でき
ることで今それが少しずつ出来て
きたような気がする。

これからはもっと足りないものを、
過ぎてしまっているのはなにかを考
えて、このような経験をした自分
でしか出来ないことをいっぽいっぽ探
していこうと思っています。

まだまだこれから

T.K

全部良かったけど、内容わすれちゃった。良かったで
す。歩くことができて、よかった。どこ歩いたかは忘
れちゃったけど… Y.O



楽しい時間

いっぽ舎が開設して7年が過ぎました。
私は、月曜日、水曜日に通所しています。
色々な作品を作りました。
10時から15時まで作業しています。
メンバーも増えて楽しく作業しています。
スタッフさんの暖かい心づかいのもと、メンバーさん
との楽しい会話をしながら作品を作っています。 H.T

私の楽しみは、アイロンビーズを何とか完成させるこ
とです。そしてことしからはじめたショートステイで
す。目標は、今後のために体重を早急に減らすこと
です。 S.H

展示・販売活動

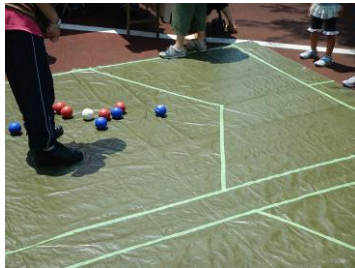


平成 29 年度の生田緑地サマーミュージアムは、「日本民家園祝 50 周年記念」ということで「50」をテーマにした開催になりました。牛乳パックを再利用して作ったハガキにメンバーによって民家園の建物の下書きを描いてもらい、来場されたお客様に色を塗っていただきました。お礼の品としていっぱいっぼの作品限定の 50 円割引券をお渡しし、売上に少しでも貢献できるように企画をやらせていただきました。



今年で 10 年になる「パサーージュたま」毎月多摩区役所で開催されています。メンバーにとっては、社会参加の機会であり、自慢の作品を見てもらう大切な場所。いつもより大きな声を出して、積極的にアピールしています。

近況報告



となりました。中には別のイベントで体験された親子がこのためだけに足を運んでくださり、夢中になってプレイしていました。着実にボッチャが浸透している手ごたえを感じました。

緑化センターで開催されたかわさきファーマーズマーケットに参加しました。4,500 人以上のお客様が来場され、大盛況なイベントとなりました。当日は作品販売だけではなく、ボッチャの体験ブースを設置して、たくさんの方にボッチャの楽しさを知ってもらえる機会

終わりに

この一年間を振り返ってみると、「いっぱい舎」を多くの方に知ってもらいたくさんの機会とご支援を頂きました。川崎市長との区民車座集会、市政だよりなど福祉に関心がある方だけではなく、多くの方が目にする広報誌に掲載されたりと、また活動で取り入れているボッチャを介して、他の事業所と交流を持てたり、地域のイベントで体験ブースを設け、子供から大人まで楽しんでもらいながら自然と活動を紹介できたことなど。開所当時から地域に根差した事業所になることをいつも頭の片隅に入れながらも、なかなか実践できなかったことが、この一年で少し前に進むことができました。このきっかけを大事にして、また一年間メンバーと協力しながら、「いっぱい舎らしい」活動をしていきたいと思えます。今後ともよろしく願いいたします。

地域活動支援センター いっぱい舎

〒214-0014 川崎市多摩区登戸 369 第 1 ふじたけマンション 103

TEL&FAX 044-299-8483

E-MAIL npo-ippoippo-ipposya@adagio.ocn.ne.jp

URL <http://ipposya.server-shared.com/>